

にしまいづる おさんぽMAP



にしまいづる おさんぽMAP nishimaijiru map

（作成）京都女子大学生活デザイン研究所
生活造形学科：鶴岡研究室 / 永研究室

お散歩コース

西舞鶴駅から吉原までを巡るコースです。それぞれチェックポイント★もあるので、ぜひしながら歩いてみてください！

商店街コース

商店街を通り、若の湯の前を通るコースです。アーケードのデザインがいくつあるので、お気に入りのものを見つけてください。

堀コース

かつて田辺城の堀があった場所を巡るコースです。田辺城資料館や舞鶴ふるさと見聞館で、西舞鶴の歴史を学ぶこともできます。

今昔コース

かつて吉原地区があった場所を巡るコースです。朝代神社や円隆寺、桂林寺に立ち寄ることができます。入り江も眺められます。

海舞鶴・ゆうさいウォーキングコース

鉄道連絡船の起点であった海舞鶴線の廃線跡地を活用して整備された遊歩道を通るコースです。西舞鶴駅から直接アクセス可能です。

○渡邊家住宅

渡邊家は、近世末期に回船問屋を務めた旧家です。主屋・土蔵はともに1870年頃の建造で、新蔵も明治時代につくられました。主屋は、大型の町屋で正面が近代商家庭に改造されましたが、伝統的な町並みを形成し、近隣の土蔵群とともに昔の風情を今に伝えています。国の登録有形文化財に登録されています。

○土井家住宅

土井家は、1885年に現在の家屋の姿になったとされています。1984年の改修時には、1885年の棟札も発見されています。外観は本二階建て桟瓦葺きで、主屋の後方には土蔵が続いています。土蔵は鉄筋コンクリート造ですが、外観は当時の伝統的な姿を残しています。

○林田家住宅

林田家は、「かめや」という屋号の造屋でした。現在の主屋は棟札から1897年に建てられたことが分かっています。伝統的なたたずまいを基調としながらも、2階妻側には縦長の窓が設けられており、近代的な装いを感じられます。城下の出入口に豪壮な町家を配することで、城下町に威儀を添えていました。

○今安家住宅

今安家は、少なくとも1852年以前に建てられたことが家相図から分かります。外観は、背の低い厨子二階の桟瓦葺きで壁面を有しています。2階部分は改築されていますが、虫籠窓や煙り出しが、以前の姿がうかがえます。昭和初期に整備された庭には、若狭街道から田辺城下町への入口であるニッ橋のもとに立っていた石標が置かれています。



舞鶴かまぼこ

世界屈指の好魚場、舞鶴市ではかまぼこづくりが盛んでいます。高度な検査に合格した良質なすり身のみを使用しており、独自の加熱方法によって高い品質を維持しています。伝統的な製法が生み出す奥深い旨味と弾力のある歯ごたえが魅力です。

○舞鶴かまぼこ工房

かまぼこの手作り体験ができる施設。かまぼこ、平天、つくわの成形が体験や、出来上がりの試食も可能です。舞鶴かまぼこの歴史からごだわりまでを学べます。（要予約）

体験時間：14:30 ~ 16:00 (90分) ※体験の10分前までに受付

料金：2500円（税込）／人 ※大人・子ども同一
予約方法：舞鶴観光ネット HPから予約 ※受付は実施日4日前まで。最小催行人数に満たない場合は催行なし（3人以上）
お問い合わせ：舞鶴観光局 TEL 0773-77-5400

○かまぼこ知識館

西舞鶴駅前のバス待合所に併設されており、かまぼこの歴史や機械などを展示しています。

●代表的なお店を紹介！

藤六

ブリブリの食感と魚の旨みを
感じられる後味が特徴です。

参考：まいづる観光ステーション

高作

めずめずしく柔らかい食感と
上品な味わいが特徴です。

鳴七

弾力がありシコシコした歯
ごたえと味わいが特徴です。

○おすすめの食べ方



西舞鶴の歴史

○田辺城の歴史

田辺城は本能寺の変の後、細川幽斎の居城として1590年頃に築城。天守台と本丸を中心に、二の丸・三の丸、さらに堀と伊佐津川と高野川に囲まれている防御力の高い城でした。細川・京極・牧野氏の居城として約290年もの間、領内統治の中心的存在でしたが、1783年に廢城されました。かつての本丸周辺が整備され、「舞鶴公園」として地域の人々に愛されています。

○田辺城 築城

1600年、東軍・徳川家康方と西軍・石田三成方で分かれで戦った関ヶ原の戦いの約2ヶ月前に起きたのが、田辺城での築城戦でした。西軍15,000人の軍勢に対し、幽斎はわずか500人の軍勢で迎え撃ちました。圧倒的に不利な状況で幽斎がヒート戦術で籠城でしたが、落城寸前まで追い詰めます。（しかし、西軍の中には、歌道の才があつた幽斎を崇拝する弟が数多く存在し、進軍を止めてあります。また、彼の死によって古今伝授が途絶えることを恐れた後陽成天皇は、西軍の包囲を解くよう命令を出しました。幽斎のたぐいまれなる才能により落城の危機は避けたのです。）

○田辺城下町の大火

1727年に田辺城下で発生した火災により漁業を自由に行う権利を与えていた漁師町だけでなく、田辺城内の建物も多数消失しました。そのため、火除け地を設け、吉原地区も移転しました。

○移転計画の概要

- ・吉原地区に伊佐津川の向かい側（現在地）に移転
- ・吉原地区的跡地に魚屋町の1区画を移転
- ・魚屋町の跡地を含む、田辺城西側の道を拡張
- ・田辺城内への被害を防ぐため、いくつかの町を移転させることで道を拡張し、火除け地を設けることが目的とされています。



西舞鶴の歴史を知るならココ！

●舞鶴ふるさと発見館（郷土資料館）

舞鶴の歴史展示やまち歩きの見所情報を提供している郷土資料館です。舞鶴総合会館内に併設されています。



●田辺城跡（舞鶴公園）

かつて田辺城本丸が存在した周辺を公園として整備しています。城門内にあります資料館では、田辺城の歴史を詳しく知ることができます。



神社・寺院

●円隆寺

真言宗御室派の寺院で、奈良時代に行基菩薩が創建。995～999年に皇慶上人が中興と伝えられています。また、背後の愛宕山は、古くから信仰の対象とされ、村では火除けの利益があると「愛宕信仰」が広まりました。「吉原の万灯籠」では、この円隆寺で神火を授かります。ご神火は愛宕神社により、かつて分けられたものであるといいます。



●朝代神社

673年に創建されたと伝わる神社で、淡路島に鎮座していた日ノ宮神の分霊を勧請したのが始まりと伝えられています。江戸時代中期の火災により多くの社殿、社宝などが焼失ましたが、1739年社殿が再建されています。4年に一度「吉原太刀振り」が奉納されます。



●桂林寺

天香山桂林寺は曹洞宗の寺院で、創建は不詳ですが古墳時代の565年に勧願によって薬師寺として創建されたのが始まりと伝えられています。関ヶ原の戦い、前哨戦の際に桂林寺6世住持・大渕が田辺城に籠城し細川幽斎を支援し、その後細川家から仏涅槃図・梵鐘が寄贈されました。



祭り

○吉原の万灯籠

伊佐津川河口で毎年8月16日に行われる盆の火祭り。魚型の万灯籠が円隆寺の神火を点火し、回転させます。江戸時代にカラゲの大祭により漁ができなくなり、海神様の怒りを鎮めるために始まったのが起源と伝えられています。



○吉原の太刀振り

11月3日、朝代神社の祭礼の際に4年に一度「吉原太刀振り」が行われます。田辺城の籠城戦において、吉原の漁師の奮闘した技を武芸の型として伝えたものだと伝えられています。



西舞鶴と漁業

○漁業の変化

～近代以前～
1728年以降に現在の吉原地区に漁師が集まり、田辺城籠城戦の活躍によって漁師の自由が認められました。



～近代以降～

1790年以降、舞鶴湾が東は軍港、西は商港へと変化し、沿岸漁業から沖合漁業に変化してきました。1904年に官設鉄道舞鶴線が開通し、水産加工品を都市部に送り込むようになりました。



○漁業景観

昭和初期まで網干場を地先に所有していました。舞鶴湾内九景ヶ浦の一つに選ばれ、「吉原の曝瀬」として知られています。



○若の湯

創業は1903年。西舞鶴に残る数少ない銭湯のひとつで、2018年5月には国の登録有形文化財に登録されました。1923年當時に政府が洋風建築を推奨していたため、レトロで印象的な外観になっています。湯には「真名井の清水」を使用しており、閑静の銭湯（せんとう）といいベンキ絵の壁画が特徴です。地元の人々のみならず、銭湯好きが訪れる人気スポットです。



○真名井の清水

環境省が選定した「平成の名水百選」の一つ。伊佐津川の伏流水が湧き出たものとされており、江戸時代には「お水道（おすいどう）」と称され、田辺城内で、生活用水として利用されていました。駅付近の商店街では水汲み場が設けられており、人々の生活に溶け込んでいます。



＜制作者＞ 京都女子大学 生活デザイン研究所
生活造形学科 鶴岡典慶研究室 志村知恵・赤尾美和・中川碧依
西山碧・平井春泰
是永美術研究室 寺澤和香・猪谷香南子・江本優香
田中美羽・野崎愛葉・森ななこ
＜発行日＞ 2024年3月発行
＜発行元＞ 舞鶴市
※無断転載・複製は固くお断りいたします。